

**【創育クリエートメールマガジン vol.6】** [国際バカロレアが目指すもの]

2018.3.30 発行

日頃は格別のご愛顧を賜りまして、ありがとうございます。

本メールは、弊社、創育クリエートが送信元となり、森上教育研究所の協力のもと、教育業界に関するさまざまな情報をお届けするメールマガジン「創育クリエートメールマガジン」です。

なお、本メールは、日頃お付き合いのある、学校関係者様、企業ご担当者様、以前にお名刺を交換させていただいた方へお送りしています。

さて、第5回「女性の社会進出」はいかがでしたでしょうか。

第6回のテーマは「国際バカロレアが目指すもの」です。

ぜひ御愛読いただければ幸いです。

\*\*\*\*\*

＝国際バカロレアが目指すもの＝

国際バカロレア (IB) は、2017 年 4 月現在、世界 140 以上の国・地域、4,819 校において実施され、7 万人以上が学ぶ、国際的な教育プログラムです。高等学校レベルの DP (ディプロマプログラム、後述) は、国際的に通用する大学入学資格 (IB 資格) 取得につながります。現在、全世界 1,800 以上の大学がこの IB 資格を入学審査に活用。国内では、国公立大学で東大、筑波大、国際教養大など 23 大

学、私立大学で青山学院大、ICU、学習院大、慶應大、中大など31大学計54大学でIBを活用した入試を導入しています。(2017年10月文科省調べ)

IBには年齢に応じて次の4つのプログラムがあります。

- 1) プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) : 3~12歳対象
- 2) ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP) : 11~16歳対象
- 3) ディプロマ・プログラム (DP) : 16~19歳対象
- 4) キャリア関連プログラム (CP) : 16~19歳対象。

DPでは所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めるとIB資格が取得可能です。PYP、MYPはどの言語でも実施することができますが、DPは原則として英語、フランス語、スペイン語で実施することとなっています。

IBでは、6つのグループ(言語と文学, 言語習得, 個人と社会, 科学, 数学, 芸術)から各教科を選択。さらに、カリキュラムの中核となるコアとして 1. 課題論文 (EE:Extended Essay) 2. 知の理論 (TOK:Theory of Knowledge) 3. 創造性・活動・奉仕 (CAS:Creativity/Action/Service) の必修要件を並行して履修します。

日本では教育再生実行会議の提言に基づき、2018年までにIB認定校を200校にすることを目標としています。推進のために、DPの科目の一部を日本語でも実施可能とする日本語DPの開発・導入も行われています。昨年4月時点で、国内のPYP、MYP、DPの認定校は66校(1校で複数のプログラムを実施しているケ

一スも)、候補校は37校となり、認定・候補校合わせて103校となっています。IB推進にあたっては、教員の育成・確保、経費の確保などが課題として指摘されています。

一方で、IBの認知度は徐々に高まり、今年度の首都圏の私立中学入試では、認定校、候補校が「グローバル教育に積極的である」との評価から、志願者を増やしています。

IBでは次のような学習者像が示されています。1. 探究する人 2. 知識のある人 3. 考える人 4. コミュニケーションができる人 5. 信念をもつ人 6. 心を開く人 7. 思いやりのある人 8. 挑戦する人 9. バランスのとれた人 10. 振り返りができる人。こうした学習者像を明示することで、生徒自身が自らの学びのあるべき姿を主体的に考え、目指していくことを促しています。

IBを検討する過程では、「ヨーロッパ的な学びの考え方はすばらしいものがあつた」「ポリシーを軸に考える教育が大変参考になった」など、先生方にとっても多くの気づきと学びがあるという声が聞かれます。

全人教育を通じて国際社会に貢献できる人材育成を目的とするIB。今後のIB認定校の増加が日本の教育に与える影響は、大きいと言えそうです。

※IBの現状については「国際バカロレアを中心としたグローバル人材育成を考える有識者会議」の中間とりまとめ(2017年5月)を参考としました。

(執筆：森上教育研究所アソシエイツ 高橋 真実)

\*\*\*\*\*

いかがでしたでしょうか？

次回も皆さまにとって有益となるような教育情報のメールマガジンを配信できるよう努めて参りたいと思います。

なお、本メールマガジンですが、内容等についてのご意見、アドレス変更、配信停止については末尾の E-mail アドレスよりご連絡をお願いいたします。

■送信元：株式会社 創育クリエート

東京都港区西新橋 3-24-3

T E L . 03-5472-5772

[create@soiku-c.co.jp](mailto:create@soiku-c.co.jp)